

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



岩手県花巻市
が応援するふるさと名物

『クラフトワイン
・ぶどうの加工品』





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

地域の
プロフィール

花巻市は岩手県のほぼ中央に位置し、西に奥羽山脈、東には北上高地の山並みが連なる肥沃な北上平野に位置し、季節ごとに変化に富んだ自然風景が広がる美しいまちです。

市の西部には、奥羽山脈の溪谷沿いに湧き出る花巻温泉郷があります。周辺は県立自然公園に指定され、立ちのぼる湯けむりと深山の緑、目の前を流れる清流が、情緒豊かな風景を醸し出します。

北東部には標高1917メートル、北上高地の最高峰、早池峰山がそびえます。国定公園であるほか高山植物の宝庫として知られ、ハヤチネウスユキソウなどここでしか見ることのできない花々が、全国から訪れる登山客を魅了しています。

また、花巻市は宮沢賢治が暮らしたまちであり、賢治作品の題材やモデルとなった場所、賢治にまつわるスポットがたくさんあります。賢治の他にも萬鉄五郎などの世界的に知られる先人を輩出するとともに、早池峰神楽や鹿踊りなどの郷土芸能、日本三大杜氏のひとつ南部杜氏、さき織り、ホームスパン等の優れた技術が多く伝えられています。

さらに、県内唯一の空港を有し、東北新幹線新花巻駅、東北自動車道、東北横断自動車道などの高速交通網が整備されており交通の要衝となっており、意外に近い地方都市となっています。

岩手県花巻市

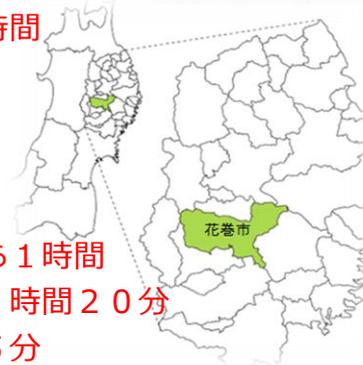


【鉄道】

- 東北新幹線
東京から最速約2時間35分
仙台から最速約1時間
- 東北本線、釜石線

【飛行機】

- いわて花巻空港
札幌（新千歳）から1時間
大阪（伊丹）から1時間20分
福岡から2時間15分
名古屋（小牧）から1時間半



【高速道路】

- 東北縦貫自動車道
川口JCTまで約5時間、
青森ICまで約2時間20分
- 釜石自動車道（平成30年全線開通予定）
宮守IC経由釜石まで約1時間30分
- 秋田自動車道
北上経由秋田中央ICまで約1時間40分

ふるさと名物の内容

◆クラフトワイン・ぶどうの加工品（地域資源：ワイン・ぶどう） ～世界で戦える地域ブランド「エーデルワイン」を中心に展開～

- 花巻市大迫町は岩手県内ではいち早くぶどう栽培が行われていた地域であり、記録では明治12年頃から始まったとされています。傾斜地が数多くあり、ぶどう育成期の降水量は少なく、朝夕と日中の寒暖差もあり、そして石灰質の土壌というぶどうの栽培に適した独特の気候風土から、昭和26年頃より本格的に栽培が始まりました。
- その中で、50年以上の歴史あるワイナリーである(株)エーデルワインは地域を牽引し、2003年に山梨県で開催された第1回国産ワインコンクールにおいて特別賞を受賞。以降、2013年開催の第11回国産ワインコンクールまで11年連続入賞しています。
- オーストリアのウイーンで開催された国際ワインコンクールにおいても2006年から7年連続入賞するなど世界で認められる名ブランド。知る人ぞ知る、リピーターを離さないワインの名所となっています。
- こうした地域性から新規のクラフトワイナリーも近年で2社立ち上がり、計3社となっており、クラフトワインと既存のワインを交えた手軽に楽しめる高品質の「ワインの里」に向けた取り組みが活発化しています。
- また、自らの農園で栽培した生食用のぶどうを一房丸ごと乾燥させ、独自の製法で生レーズンにした「太陽の生レーズン」は復興庁の主催により開催された「世界にも通用する究極のお土産10選」にも選ばれており、生食用のぶどうを用いた加工品開発も盛んになっております。



地域のカ・若い力が結集した取り組み

◆クラフトワイン・ぶどうの加工品にマッチする地域資源

◇ほろほろ鳥

ヨーロッパでは鶏に比べ、肉質のよさ、食感等の評価が高く「食鳥の女王」と呼ばれる「ほろほろ鳥」。脂肪は、良質の脂肪なので低コレステロール、そしてコラーゲンがたくさん含まれています。鶏肉より脂肪が少なく、タンパク質が多く鉄分は牛肉と同程度で魚の3倍以上あり、ビタミン類も豊富です。ほろほろ鳥は県内20店舗以上の飲食店で取扱われており、花巻ワインの素敵なマリアージュです。



◇白金豚

日経流通新聞紙「生鮮品勝ち組ランキング」第1位、料理雑誌「食楽」でも「シェフが選ぶ注目の豚肉」でも第1位などに輝いた「白金豚」。ランドレース種、大ヨークシャー種、バークシャー種の3品種を掛け合わせ、高源精麦株式会社が飼育配合から出荷まで一貫体制で生産しているブランド豚です。ワイン×白金豚は最高のペアリングでありギフトセットとしても提供されております。



◇果実酒

クラフトワインだけでなく、花巻産の新鮮なリンゴだけを使用した、果汁100%のノンアルコールシードルもあります。酸化防止剤など一切使用せず、ワイン酵母でゆっくり発酵を加えることで、リンゴ本来の香りとフルーティーな味わいをお楽しみいただけます。



◆クラフトワイン・ぶどうの加工品をより堪能するための地域資源

◇花巻まつり

2015年にお神輿の数世界一のギネス記録を持つ「花巻まつり」。400年以上の歴史を持ち、華麗な風流山車のほか、140基の神輿、岩手県を代表する郷土芸能の鹿踊、神楽権現舞のパレードが繰り広げられます。出店ではワインが提供されておりセットでさらに盛り上がります。



◇早池峰神楽（神楽）

2009年にユネスコの無形文化遺産に登録された「早池峰神楽」。早池峰山にて修行していた山伏が伝えたものとされ、南北朝の時期には既に確立されていたと言われております。日本ワインフェスティバルなど多くのワインイベントでは、神楽が上演されており、ワインを楽しむための一助となっております。



◇花巻温泉郷

奥羽山脈の渓谷沿いに湧き出る「花巻温泉郷」。東北有数の規模と快適な設備を誇る温泉から湯治湯までバラエティ豊富な温泉が12箇所ございます。日本国内でも珍しい、立たないと入浴できない浴槽や、風情たっぷりの渓谷沿いの露天風呂など、湯量豊富な温泉ならではの特徴的な浴槽も少なくありません。温泉施設内ではワインが提供されており、花巻ワインのブランド形成に一役買っています。



花巻市の取組み（素地づくり）

○クラフトワイン・シードル特区

- 花巻市は2016年11月29日、岩手県初となるワイン特区として内閣府の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」に認定されました。
- 果実酒の特区は県内初。ワイナリーへの新規参入を妨げていた酒税法の最低製造数量（年間6千リットル）の要件などが緩和され、小規模施設でも生産が可能になるほか、農家レストランなどで自家製の提供が認められることとなります。
- 今後、新規ワイナリーの参入、新規就農など農業振興にも繋げるため、市の移住定住担当、産業振興担当、農業担当などが一体となって取り組みます。



○ぶどう栽培希望者研修「ぶどう塾」

- 花巻市葡萄が丘農業研究所が中心となり、ぶどう栽培の基礎研修、栽培指導及び栽培管理など技術習得を支援する「ぶどう塾」を開催しています。

○動く相談窓口

- ぶどう栽培の見通しが立たない農家や高齢世帯など、栽培継続に不安を感じる農家を個別に訪問し、課題解決をサポート。ぶどう農家の減少を防いでいます。



花巻市の取組み（ソフト&ハード支援）

○新規就農者支援事業

- 市内で新規に就農したい方へ、農地の借損料や農業用機械、施設及び資材を補助しています。



○花巻市農商工連携事業補助金

- 地域産業の活性化と農業所得の向上を図ることを目的として、花巻市内で生産された農畜産物を原材料とした付加価値性の高い加工品の開発や製造を行う事業活動を支援しています。



○花巻市起業化支援センター

- 地域企業が求める様々な外部経営資源（研究シーズ、補助金、アドバイザー、協力企業など）とのマッチングをはじめ、保有するネットワークを活かし事業活動を支援しています。



「クラフトワイン・ぶどうの加工品」に関連したイベント

○ぶどう生産者と共にワインを楽しむ夕べ（3月）

- 大迫町の「ワイン専門品種33園地」から生産されたぶどうを生産者ごとに特別醸造したワインの飲み比べを生産者と語らいながら楽しめるイベントです。

○日本ワインフェスティバル 花巻大迫（5月）

- 岩手県内のワイナリーをはじめ、北海道・東北・関東・甲信越地方の38ワイナリーが自慢のワインをひっさげて集結する「日本ワインフェスティバル 花巻大迫」花巻市大迫町で日本ワインの世界を堪能できるイベントです。

○おおはさまワインまつり（9月）

- グラスに特産のワインを注ぎ、焼き魚やチーズ、バーベキューなど地元の食と共にワインを楽しむことができます。早池峰神楽の上演やワイン娘のぶどう踏みなど様々な催しが繰り広げられます。



今後の展開（素地づくり）

○花巻産ぶどうの安定生産に向けた取り組み

- 地域ブランドである「エーデルワイン」が国際的な評価も高まり世界で認められる名ブランドとなる一方で、肝心の原料ぶどう栽培の実態は、収益性の高いぶどうヘシフト等を理由に減少し続け、生産基盤は脆弱しています。市では、安定生産を視野に入れた「契約栽培」を推進する花巻産ぶどうの栽培奨励制度を行うと共に、苗木給付対策事業を展開し、生産基盤の一助とすべく強化に努めます。
- 平成29年9月1日には、農地法第3条第2項第5号の規定による「農地取得要件を50㎡から10㎡」に緩和し、新規就農者が就農しやすい環境整備を行いました。今後も初期投資の負担軽減に努め、若い人たちの新規参入を促していきます。
- また、ぶどう生産者の高齢化（平均78歳）と後継者不足により廃園が大きい問題になっております。ぶどう栽培という仕事を明確にした形で地域おこし協力隊を募集し、3年間ぶどうづくりのノウハウを学びながら廃園の維持に努めてもらいます。その中から、定住しぶどうづくりを行いたい人に、維持していたぶどう園を引き継ぎ生産いただく仕組みをつくっていきます。
- なお、花巻市外からぶどう栽培（新規就農者）を目的に移住する方々に対して、空き家を支援いたします。併せて、引っ越し費用及び改修費用の一部も支援いたします。



今後の展開（ソフト・ハード支援）

○新規醸造者支援事業

- 現在、新規ワイナリー開設志向者の方へ、市内や近隣のワイナリーでの醸造研修を斡旋するとともに、研修生受け入れワイナリーに対する支援をしております。今後は、醸造技術の習得や醸造機材選択、ワイナリー開設までの起業計画作成に関するセミナーを開催します。また、新規ワイナリーの整備や既存ワイナリーの新たな醸造設備導入、観光客受け入れのためのショップやテイastingルーム整備に対する支援を行います。



○花巻ワインプロモーションイベントの開催

- 花巻産ワインの販路開拓と、ワイン産地としての認知度向上に向け、首都圏での花巻ワインプロモーションイベントを開催します。イベントでは、「花巻産ワインの評価」とともに、白金豚等の市内産農畜産物を活かしたメニューを提供し、ワインを含めた市内地場産品の魅力をPRします。



○ワインツーリズム

- ぶどう産地の魅力を五感で味わう「ワインツーリズム」を実施していきます。ワインづくりの過程に触れて、土地の風土や文化など様々な地域資源を味わっていただき、ワインの価値を最大限まで引き出します。

市長からのメッセージ



花巻市長 上田 東一



自然環境に恵まれた花巻市は、岩手県内ではいち早くぶどう栽培が行われた地域です。ワインについても50年以上の歴史があり、さまざまなコンクールでも受賞を重ね、国内外で高い評価を受けております。

一方、ぶどう農家を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足という、一朝一夕には解決できない問題を抱えております。

しかし、近年、新規就農者や新規ワイナリーが誕生しており、先人たちがこれまで培ってきたぶどう・ワインづくりの歴史や誇りは確実に次世代に継承されております。

次の50年、100年に繋がるよう、業種や世代の垣根を越え、協働しながら地域全体でぶどう・ワインの育成・強化に取り組んでいきます。